

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 7 月 29 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2170103366		
法人名	医療法人 梅田クリニック		
事業所名	グループホーム 静春		
所在地	岐阜市西島町2番6号 (電話) 058-296-7005		
評価機関名	NPO法人ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと		
所在地	各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル		
訪問調査日	平成20年7月25日	評価確定日	平成20年9月5日

【情報提供票より】 (平成 20 年 7 月 10 日 事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 11 月 3 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 15 人, 非常勤 3 人, 常勤換算	9.8 人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート	造り
	3 階建ての	2 ~ 3 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	20,000~ 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (150,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,500 円		

### (4) 利用者の概要 (平成 20 年 7 月 10 日 現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護 1	2 名	要介護 2	5 名		
要介護 3	3 名	要介護 4	7 名		
要介護 5	2 名	要支援 2	名		
年齢	平均 87 歳	最低	75 歳	最高	99 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	梅田クリニック、岐阜市民病院、森清クリニック、えばた歯科、城西歯科
---------	-----------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市郊外の幹線道路に面した鉄筋コンクリート3階建ての建物は、頑丈な造りでありながら外付けの木製日除けブレードによって街路樹や周囲と溶け合い、落ち着いた雰囲気があり、地域との相互連携の実績も多い。建物内にある四季折々を感じられる中庭は、広い廊下に囲まれた回遊式の庭園で、利用者の健康と安らぎの場所となっている。ほとんどが正社員で、若くて明るく元気な職員であり、医療と介護の融合を目指す経営者の理念もよく浸透し実践されている。その介護水準や家族アンケートの満足度も高い。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題なし。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	ユニット毎に全職員が参画して反省会やミーティング等で話し合い、最終的に今回の自己評価では全87項目中29項目を更に取り組みたい項目として自主的に選定している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	自治会長、民生委員会、民生委員、家族会代表、行政関係、施設長以下職員などが出席して、隔月に、ホーム又は近くの公民館において充実した会議が行われている。詳細な会議録は職員全員が見られるよう引継簿に写しが貼付され、その透明性の確保が図られている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族会があり家族の来訪は多い。毎月の便りの中にアンケート用紙を同封し、来訪時に玄関の意見箱に入れるよう案内している。意見は職員会議で検討・報告され、その内容・対応等は送りノートにも貼付している。意見に対する回答・対応等は個別又は全家族に郵送され、運営推進会議にも報告されている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ゴミゼロ運動を始め、自治会に加入し、地域の行事に参加している。近隣の障害者施設との交流、小中学校の体験学習の受け入れ、その後の児童・生徒との個別の交流も生まれている。頑丈な鉄筋コンクリート3階建て建物は、水害時の近隣住民等の一時避難場所となっている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	医療法人が経営する介護施設である特性を活かし、医療・健康面でも安心感のある介護を提供することをうたった理念がつけられている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム名は経営者の両親の名前から一文字ずつとって作られ、両親を思う気持と同時に、医療・介護の融合を願う気持が理念の土台となっており、日々の介護支援の中で実践されている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ゴミゼロ運動を始めて地域の人からの声かけが多くなった。自治会に加入し、地域の行事に参加し、近隣の障害者施設とも交流し、小中学校の体験学習を受け入れ、その後その児童生徒との個別の交流も生まれている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価での改善課題はなかったが、今回の自己評価では全87項目中29項目を更に取り組みたい項目として自主的に選定している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>隔月に、ホーム又は近くの公民館において充実した会議が行われている。詳細な会議録は職員全員が見られるよう引継簿に写しが貼付されている。</p>		
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市担当課や包括支援センターとは、相互に頻りに交流が行われ、業務に生かされている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の来訪頻度が高く、ほとんど直接報告している。毎月の状況報告である便りの中に、アンケート用紙を同封し、来訪時に玄関に置いてある意見箱に投入するよう呼びかけている。意見に対する回答・対応等も便りに記載している。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>アンケート等で寄せられた家族の意見は、会議で検討したり、申送りノートに貼付したりして職員間での共有の徹底が図られている。また、運営推進会議にも報告されている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員は、併設のデイサービスでイベントがある時は一緒に参加したりして日頃から利用者と併設施設の職員との関係づくりがされている。職員の異動は便りで家族にも通知されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修への受講、その後の報告研修、全職員参加の内部研修、仕事を行いながらの職場内実地研修等、自己啓発・研修は勧奨されている。調理や隔日の清掃は外部業者が行い、職員の負担を減らし、働きやすい環境になっている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者との交流もあるが、岐阜県グループホーム協議会や地域包括支援センター等からも情報を得て、サービスの向上に努力している。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用希望者には、まず、1階のデイサービスの利用や施設見学を勧めている。その後に必要な説明を行い、理解し、納得してもらった上で入居してもらっている。入居後の見守りも手厚い。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	若い職員が多く、農業を営んでいた利用者から花や野菜栽培を教えてもらったり、習字の先生だった人にはお手本を書いてもらったりして、支えあい、共に生活している。		

外部 評価 値	自 己 評 価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族からも利用者の希望や関心を把握しようとする努力がされている。昼間は自宅で過ごし、夜はホームに帰る利用者もある。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、かかわっている職員全員での会議や本人や家族との話し合いが持たれ、作られている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月の全員会議で意見を出し合い、見直しが必要かどうかなど話し合われている。必要に応じてセンター方式の様式も利用している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院・喫茶店・スーパー等への外出支援は無料で行われている。併設デイサービスのイベントに参加したり、日曜日は併設施設が休みのため、その場所を借りてホームのイベントを行うこともある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者は元々近隣の母体クリニックの利用者が多く、毎日来訪する医師に状況を報告し、毎週の往診もある。その他の協力医院も確保され、通院支援も行われている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や容態の変化時には、医師の説明を基に、家族及び職員に説明している。終末期の支援については、職員会議でも話し合われている。	○	斯業の先達として、また、医療法人として他の施設の範ともなるよう、終末期の対応については、明確な文書化が望まれる。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	書類関係は施錠された事務室内に保管され、利用者への言葉掛けも適切である。	○	訪問客の受付簿は利用者家族の希望もあり長年使用されているノート方式であるが、個人情報の記載もあるので、今一度の検討が望まれる。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床・入浴・食事など本人のペースで行われている。ビル内施設のため土・緑・風・太陽を感じるには中庭に出た時であり、閉塞感を感じないようによく利用している。花も咲く中庭を中心に廊下は回遊できる構造となっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月～土曜日の昼食はデイサービスと一緒に調理される都合上、献立の変更は難しい。献立会議はないが、管理栄養士が献立を作っている。弁当を持ってくる職員も多く、毎食、職員と一緒に食事をしている訳ではない。	○	職員は、検食を記録し、日曜日だけでも、料理写真パネルを利用したりして利用者が食べたいものを決める「希望メニューの日」の実施等の検討が望まれる。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一般浴と機械浴があり、2名の職員で週に3日の支援を行い、希望したり汚れた時は、その都度対応している。併設のデイサービスにある露天風呂も時には利用している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	農業を営んでいた人には野菜・花の栽培指導を行ってもらったり、馴染みの喫茶店への外出を支援したりして生きがいの動機付けに努力している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ビル内施設であるため、なおさらに心掛け、散歩・喫茶店・本屋・薬局・スーパー等への外出を支援している。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	前面は交通量の多い幹線道路であり、ビル内施設のため階段やエレベーターの危険もあり、制約はあるが、中庭を積極的に使って閉塞感を感じないように努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害防止マニュアルを作成し、防災訓練は年2回実施し、運営推進会議でも報告している。水害時には想定安全水位の当ビル3階が近隣住民等の一時避難場所に指定されている。	○	斯業の先達として、あと一步進めて地域との相互防災協定の締結が望まれる。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士により1日1700kcalの献立が作られ、食事摂取量はバイタルチェックなどと共に管理されている。水分補給は、入浴後に声を掛けたり、見守りされている。	○	健康状態の把握の一環として、水分補給についても何らかの記録が望まれる。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下は、四季の移ろいを感じさせる中庭を中心に、回遊できて広く、天井の高さにも余裕がある。居間の食堂は、南面が総ガラス貼りになっており、明るい。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全居室には洗面台があり、特別室にはトイレもある。天井の高さまである収納棚は、広く、扉もついて安心できる。まだ新しい介護用ベッドは無料で貸し出しされている。居室の様子は利用者の好みである。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。